

施策マネジメントシート(2023年度の振り返り、総括)

作成日 2024 年 6 月 6 日

基本目標	V	地域をささえるひとづくり					
施策	23	コミュニティ活動の推進	主管課	名称	企画課	関係課	
				課長	小池 俊弘		
				担当係	企画調整係		
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  5ジェンダー平等を推進する （男女同权）  10人や国との平等な関係をつくる  11気候変動に脅かされるコミュニティを強化する  16平和と正義を推進する （平和の文化）  17パートナーシップで目標を達成しよう							

目的と基本方針	住民が助け合い、住みやすい地域をつくる
	・地域活動の継続を目指し、活動の支援及び担い手の育成を図ります。

考え基本事業の	・地域の拠点である集会所等の改修や修繕に係る費用を補助する。 ・「住民」が主体となって「地域」のために行う活動を、補助事業を活用して支援する。 ・地域活動に興味を持つ人を増やすため、研修会や講演等を企画したり、また企画する団体等を支援する。
---------	--

基本事業	基本事業名	対象	意図	取り組み方針
	1 コミュニティ施設の維持	町内の各地区	地域住民が気軽に利用できる。	公民館や集会所等、地域の施設が維持できるように補助制度を活用して支援します。
	2 コミュニティ活動への支援	町民	活動に取り組みやすくなる。	地域のために活動する個人や団体に対し、補助金を活用して支援します。
	3 担い手の育成	町民	新たな活動に取り組む。	まちづくり活動に関心のある人を対象にした研修や講演会等を企画し、活動を推進するための情報提供及び支援を行います。
	4			

施策を取り巻く状況	1. 施策の現状 ・一部地域では、人口減少及び高齢化により地域での活動(特にお祭り)が出来なくなるのではないかと危惧されています。 ・まちづくり協議会の会員及び活動が固定化され、新しい人の参加や新たな取り組みが難しい状況です。 ・コミュニティ施設(地域の集会所など)は建築から数十年が経ち、老朽化等による修繕が必要な所が増えています。 ・国や県のコミュニティ助成事業は、宝くじの売り上げ減少に伴い、補助枠が減るなどの問題が起きています。	2. 施策の課題 ・人口減少や高齢化が加速していくなかで、地域活動が行えなくなる地区が発生する可能性があり、若年層が参画しやすい環境づくりを検討する必要があります。 ・まちづくり協議会のあり方や活動内容について検証する必要があります。 ・施設改修を望む地区が今後も一定程度あると考えられ、施設整備補助金の募集や運用の方法等を検討する必要があります。 ・コミュニティ活動のための、新たな財源確保が必要です。
	3. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化する？ ・人口減少によるコミュニティの継続、特に地域に伝わる祭りなどの継承が困難な状況になるところが出てくる。 ・新たなコミュニティの創出、それに起因した関係人口、交流人口の増加は可能性がある。 ・今後、町の財政が厳しくなった場合、補助金が削減され、補助金依存している活動は自然消滅する可能性がある。	4. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・高齢者の見守りなど、地域に暮らす人のための活動うい行って欲しいという声がある。 ・「まちづくり」の捉え方が人それぞれで、自分の考えと違う活動に対し批判的であったり、どんな活動が適切なのか分からないという声もあがっている。

施策のための目的・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割 ・地域での活動に積極的に参加し、地域住民同士の交流を図る。 ・近所に住んでいる子どもや高齢者などに対して、声かけするなど、出来る範囲で見守りを行う。 ・目的を共有し、共に活動する仲間を増やすよう努める。	2. 行政(町、県、国)の役割 ・地域のコミュニティ活動を、補助事業などを活用して支援する。 ・地域住民に対し、各種補助事業(国、県、町)の周知を図り活用を促す。 ・オープンセミナー等を活用し、地域の担い手となる人材の育成を支援する。
---------------	--	--

施策	23	コミュニティ活動の推進	主管課	名称	企画課
				課長	小池 俊弘

施策の成果指標	成果指標名			単位	区分	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
	A	地域の活動に参加したことがある町民の割合	%		実績値	50.2	51.4	62.3				
							70.0	55.0	55.0	57.0	57.0	58.0
	B	今の場所に住み続けたいと思う町民の割合	%		実績値	62.1	63.9	64.6				
							70.0	63.0	64.0	65.0	66.0	67.0
	C				実績値							
	D				実績値							

成果指標の達成状況	A	達成	成果指標の増減の要因	A	コロナ禍で活動に参加したことがある割合は減少していたが、2023年度コロナ前の水準に回復し、地域の活動が新たに始まったり、再開されてきている。一方で、高齢化等を理由に、復活できない活動も一定数発生している。
	B	達成		B	住み続けたいと思う町民の割合は、月夜野・水上地区は増加しているが、新治地区が減少している。また50歳以上の割合は増加しているが、それ以外の世代では減少が進んでいる。
	C			C	
	D			D	

基本事業の成果指標	基本事業名		指標名		単位	区分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	1	コミュニティ施設の維持	A	改修等を行った施設	件	実績値	0	6	4				
						目標値		—	3	3	3	3	3
			B			実績値							
						目標値							
	2	コミュニティ活動への支援	A	支援を行った団体	件	実績値	89	82	76				
						目標値		—	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
			B			実績値							
						目標値							
	3	担い手の育成	A	研修等の開催回数	回	実績値	—	—	2				
						目標値		—	2	4	6	8	10
			B			実績値							
						目標値							
	4		A			実績値							
						目標値							
			B			実績値							
						目標値							

基本事業 取り組み状況・増減の分析・課題・取り組み	取り組み状況		目標に対する増減の要因分析	現状の課題	具体的な取り組み
	1	施設改修の相談内容により、要望内容にそった補助事業の紹介を実施。新設・改修だけでなく、修繕に対応できるよう補助要綱の改定を行った。	施設の建築年が集中しているため、同時期に改修の必要な箇所が集中し始めたため、今後も相談件数は増加していくと推測される。	コミュニティ施設の老朽化と、住民の高齢化や人口減等により、今後も一層の維持費の負担増が予想される。	避難所の役割を担う施設が多いことから、相談内容により、有利な補助事業の活用をうながすとともに、町の補助要綱についても、ニーズを分析し適宜見直ししていく。
	2	支援要望内容を把握し、まちづくりだけでなく、観光や商工等で団体の活動内容にあった支援の紹介を実施した。支援希望者が、補助事業を検索できるポータルサイトを開設した。	中学校の統廃合等により、学区を単位とした活動団体の減少や、コロナ禍の影響で活動を自粛していた団体の活動が再開に向かっていない。	年々、高齢化によるマンパワー不足を心配する声が強くなってきている。活動内容によっては、新たな仲間づくりに課題を持つ団体も増えつつある。	今後も継続して新たな仲間づくりを進めるとともに、自分達の活動だけに注力するだけでなく、持続可能な活動を考えてもらう場を設定しながら、現在活動している同士で協力していく取り組みを支援していく。
	3	まちづくり協議会員を対象にSDGsの勉強会を実施。特別なことをしなくても自分達の活動がSDGsに繋がっていることを感じ、活動の必要性を再認識するきっかけとした。	カードゲームを活用した勉強会を実施し、気軽に参加する機会を提供した。	現状はまちづくり協議会員を対象とした担い手育成に特化しているが、企業との連携等の新たな仲間づくりを進めていく必要がある。	一部の会員だけでなく、多くの人が参加しやすい環境を意識し、身近に感じる課題(SDGsへの取り組みだけでなく、資源ごみの分別方法等)を研修内容に取り組み、担い手の育成に取り組んでいきたい。
	4				

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000001		コミュニティ助成事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		2,500,000 円					
施策 体系	施策		23		コミュニティ活動の推進				行政区等のコミュニティ活動(主に地区会館やお祭り用の備品)に対する助成金を交付することにより、コミュニティの健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報事業を行う。なお、財源は全額が(一財)自治総合センター等の宝くじの普及広報事業費で、町の一般会計を通して申請団体に支給される。				-				事業実績						
	基本事業		02		コミュニティ活動への支援												交付実績数(利用件数)						
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策										
組織名		企画 課				企画調整 係				課題なし				-				令和 4年度		令和 5年度		単位	
事業 期間		継続事業				会計		1 款										2 項		1 目		7	

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000001		地域コミュニティ施設整備補助事業					① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	1,724,000 円			
施策 体系	施策		23		コミュニティ活動の推進					まちづくりを支え合う自主的及び自立的なコミュニティ活動を支援するため、その活動の拠点となる施設整備事業を補助する。 補助金の上限1,000千円(補助率3/5) まちづくり事業審査会により審査実施				従来、新築・改修のみを対象としていたが、補修を加え幅広く活用できるように制度を改正した。また応募方式を変更し、予算残額がある場合は2次応募を実施し、5年以内に事業を実施している施設の応募を受け付ける方法に変更した。				事業実績			
	基本事業		01		コミュニティ施設の維持					②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策							
	組織名		企画			課		企画調整			係	コミュニティ施設の老朽化が進み、修繕の要望が増えている。また、少子高齢化・人口減少により修繕費等の確保が難しい状況。				新しい制度等の周知を図る。要望に合わせた補助制度が活用できるように、各課と連携を行う。				令和 4年度	令和 5年度
事業 期間	継続事業			会計	1	款	2	項	1	目	7					6	4	件			

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000002		まちづくり団体活動支援事業					① 事務事業の内容			③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	8,273,395 円	
施策体系	施策	23		コミュニティ活動の推進					まちづくりを支え合うコミュニティ活動を支援するため、自発的な発案による地域の課題解決のためのまちづくり事業に対して補助金を交付する。 ＜まちづくり団体活動支援事業補助金＞ 補助金上限10万円(補助率10/10) ＜まちづくり協議会活動支援補助金＞ 補助金額800万円			統一ルールは支部ごとに運営方法等に違いがあるため、現段階では調整することが難しい。そのため、3支部連携による全体事業を実施し、連携体制の構築を図った。			事業実績		
	基本事業	02		コミュニティ活動への支援											まちづくり活動補助金を活用した事業件数		
									②事務事業の課題			④今後の方針・課題解決策					
組織名				企画 課		企画調整 係			まちづくり協議会運営に関する統一ルールづくりが必要である。			3支部連携による全体事業を継続的に実施し、連携体制の強化を図る。			令和 4年度	令和 5年度	単位
事業期間	継続事業		会計	1 款	2 項	1 目	7	3							1	件	

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000003		地域づくり協議会等参画事業							① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		1,117,553 円		
施策体系	施策		23		コミュニティ活動の推進							群馬県地域づくり協議会会費負担金 全国山村振興連盟群馬支部負担金 利根地方総合開発協会負担金 地域活性化センター負担金				—				事業実績			
	基本事業		02		コミュニティ活動への支援															協議会等出席回数			
					②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策														
組織名			企画 課			企画調整 係				課題なし				—				令和 4年度		令和 5年度		単位	
事業期間		継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	7					1		1		回			